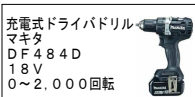
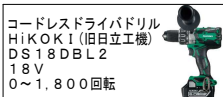


施工方法と施工上の注意

一、施工工具は

- 1、推奨工具の使用が不可欠です。

ドライバードリル(回転専用トルク調整機能付き) 下記は2020.03現在を基にしています。



- 2、インパクトレンチ・インパクトドリルは、鉄下地には所要の穴開け及び締結が出来ません。
⇒ネジ破断・リセス及びビットの破損を招きます。

二、普及品及び高耐力品にはナット可動式とナット固定式があります。

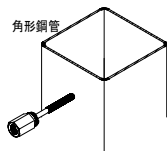
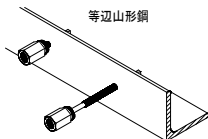
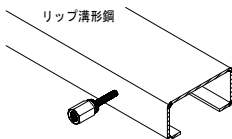
⇒適応下地・適応壁厚(締結下地厚さを含む)で品番を選択します。

- 1、外壁材施工時と同じ状態で下地に締結を行います。
⇒目地又はジョイント部から下地に締結するのが基本です。
- 2、ALCパネル・ECP(押出成形セメント板)等で鉄下地の裏にコンクリートの打設がある場合
⇒締結出来ません。ツイン・3WAYタイプを使用して下さい。

三、外壁材に直接締結するツイン・3WAY・プレコンは、必要な強度を得るため2本(ツイン)、2本・3本・4本(3WAY)締結用があります。(プレコンを除く) ⇒カタログ記載の適応下地・適応壁厚で品番を選択します。

- 1、ALCパネルの場合は、下穴不要です。
- 2、ECPの場合は、別売りECP専用ドリル(ECPD-H51)で中空部分に下穴を開けます。
⇒不使用の場合は、所要の強度が得られないため受注致しかねます。
- 3、コンクリートの場合は、下穴径×深さ目安の穴開けが必要です。
⇒推奨工具はドライバードリル(回転専用トルク調整機能付き)又はインパクトドライバーです。

■施工例



使用上の注意

GSアシバツナギ ステンめっき据置タイプ

品番	適応最小・最大壁厚 (mm)	下地厚(mm)	最大引張強度 N (kgf)t=mm
New ABWS-26 p1.0 細目ネジ	・10	鉄1.6~3.2	1.6t- 3,100 (316)
New ABWS-51 p1.0 細目ネジ	・35		2.3t- 7,100 (724)
New ABWS-76 p1.0 細目ネジ	21・60		3.2t- 9,600 (978)
ABWS-26 p1.8 粗目ネジ	・10	鉄1.6~3.2	1.6t- 3,099 (316)
ABWS-51 p1.8 粗目ネジ	・35		2.3t- 4,992 (509)
ABWS-76 p1.8 粗目ネジ	21・60	鉄2.3~4.5	3.2t- 6,188 (631)
			2.3t- 4,864 (496)
ABWS-76 p1.8 粗目ネジ	21・60	鉄2.3~4.5	3.2t- 5,943 (606)
			4.5t- 14,220 (1,450)

推力 20Kgf~25Kgf
但し、工具に過大な推力を加えると、回転にブレーキを掛け穴開け・ネジ立ての能率低下を招きます。

- ①(社)仮設工業会編の足場工事マニュアルに準じて、十分な安全率を考慮して下さい。
- ①許容荷重=最大引張強度÷安全率(法令の定め・施工現場の環境を考慮し安全率は2.0以上を目安にして下さい)
- ①機能的には引張強度≠圧縮強度ですが、(社)仮設工業会編の足場工事マニュアル記載の通り、壁当てジャッキの使用は施工案件毎に検討対応が必要です。
- ①鉄下地が厚い場合でネジ加工がスムーズに行えない場合は、回転を下げてトルク調整をして締結して下さい。
- ①付属の専用ビットの四角No.3を必ず使用して下さい。
- ①壁つなぎの雄ネジ部に傷や錆び等のままで接続しないで下さい。

■適所に各々には、下穴処理ビスがあります。(プレコンを除く)



普及品 AWS・AFS-76
左 ユニクロ 右 ステンめっき



高耐力品 SM・SF8×78
左 ユニクロ 右 ステンめっき



ツイン ATE-45・ATA-90
左 ステンめっき 右 セラミック

イファス株式会社/株式会社シングテックファスナー
詳しい情報はこちらから <http://www.iifas.jp> Email:sales@iifas.jp